

郡上のおどり 3年ぶり開催



郡上おどり



白鳥おどり

郡上の夏におどりが帰ってきます。3年ぶりとなる「郡上おどり」、「白鳥おどり」、「白鳥の拝殿踊り」の開催が、各主催者による合同記者発表会（6月7日（火））で発表されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年、一昨年とおどりの通常開催は見合わせとなり、長い歴史の中でも異例の「静かな夏」となりました。この間にも、伝統文化の継承とまちの賑わいを創出するため、踊りのオンライン配信やSNSによる情報発信など、新しいかたちでの取組みが行われました。

今夏は、コロナの感染状況が改善方向にあることから、市内外のおどりファンが「郡上のまちで踊りの輪を囲みたい」という多くの声の後押しされ、3年ぶりの開催が決定されました。開催に際しては、おどりファンをはじめ市民の皆さんが安心して郡上のおどりを楽しんでいただけるよう、感染防止対策の徹底に努めますので、皆さんのご協力をお願いします。

ウィズコロナでのおどり開催

今年のおどり開催に向けて、最大の課題は、未だ影響の残る新型コロナウイルス感染症にどのように対処するかという点です。郡上のおどりは、他地域の祭りやイベントと異なり、誰もが参加でき、時に袖を触れ合わせながら踊ることが魅力です。この魅力をできる限り残したうえで、ウィズコロナでも安心して楽しめる踊りのかたちが模索されました。

これまで国や県の指針に鑑み、また県の指導等を受け、今年はその対策を徹底して郡上のおどりが開催されます。

- ① おどり会場内の入場受付の設置
 - ◆ 検温センサーによる体温測定（消毒液の設置による手指消毒）
 - ◆ 接触確認アプリ（COCO A）または岐阜県感染警戒QRシステムの登録
 - ◆ 来場者への「入場PASS」シールの貼付による受付確認
- ② 受付誘導、密集回避のための誘導係員の配置
 - ◆ 会場周辺に係員を配置して受付場所への案内実施
 - ◆ おどり客の間隔（前後左右1m以上）を確保するため

踊りに関する情報は、Facebookで随時更新します

▶ 郡上おどり
運営委員会



▶ 白鳥観光協会



- ③ おどり会場内の対策
 - ◆ 会場内外でのマスク着用（おどり客は大声を出さず静かに踊る）の徹底
 - ◆ 路上での飲食の禁止（熱中症対策飲料は可）
 - ◆ 露店販売の禁止（店舗内営業及びテイクアウトは可）
 - ④ お囃子出演者の取組み
 - ◆ 出演者は抗原検査等による陰性確認を実施
 - ◆ 陰性確認ができた演者はマスク着用なし
 - ⑤ 交通規制
 - ◆ コロナ対策に係る準備のため規制開始時間を1時間繰り上げて実施
 - ◆ おどり会場の地区だけでなく隣接地区を含めた規制区間の拡大
 - ⑥ その他
 - ◆ 開催日数の縮小、徹夜おどりの開催時間を短縮して実施
 - ◆ 対策に係る係員を配置するため観光協会、商工会、地区からのスタッフ協力

郡上おどり保存会



The 100th Anniversary



創立百周年記念

祝・郡上おどり保存会 100周年

今年、3年ぶりの郡上のおどりの開催に加え、これまで郡上おどりを保存・継承してきた郡上おどり保存会が創立100周年を迎える記念の年です。

保存会の創立

郡上おどり保存会は、大正11年（1922）に創立されました。



白鳥の拝殿踊り

たちの功績を称えるとともに、次の100年に想いを馳せ各種記念事業を展開します。そして、郡上おどりが愛され継承されていくために、私たちは今、何ができるか、何をすべきかを、各種事業の展開の中で、みなさんと一緒に考える機会したいと思います。

踊り本「郡上おどり」・記念誌・三味線譜の発行

郡上おどりの由来やおどり種目のいわれ、特色、保存会のあゆみ、おどり方説明などを掲載した通称「踊り本」の新版、これまでの100年間の出来事を写真で紹介する記念誌が発行されます。また、郡上おどりの普及を目的に、これまで横書きしかなかった「かわさき」、「三百」、「春駒」の三味線の譜面の縦書き譜も作成されます。これらの発行物は、市内の図書館等に配布される予定です。

郡上おし新歌詞

昨夏から、郡上おし歌詞募集を行い、昨年12月末までに全国

から197の作品が寄せられました。

審査会において、応募いただいた作品の中から入選作20作品が選定されました。7月9日の記念式典で、入選者の表彰が行われるとともに、入選作は保存会により今後もし継がれていく予定です。

記念式典・記念イベントの開催

郡上おどり保存会創立100周年記念式典が、おどり発祥祭と同日7月9日（土）に開催されます。式典では、これまで郡上おどりを支えてきたみなさんへの感謝状の贈呈、郡上おどりジュニアクラブによる作文発表とお囃子披露などが行われます。

また記念イベントとして、7月31日（日）に記念講演会が実施されます。講師には、八幡町出身の音楽ライター 毛利眞人氏をお招きします。また、郡上おどりについて話し合う「郡上おどりガヤガヤ会議」も開催されます。これらのイベントの様子は、ケーブルテレビ及びYouTube等で放映、配信される予定です。

郡上おどり保存活用計画の策定から197の作品が寄せられました。郡上おどりの担い手となる後継者の不足、踊り屋形の老朽化など、多くの課題を抱えています。今年度は、おどり関係者や観光事業者、関係地区の皆さんへ郡上おどりに関わるアンケート調査が実施され、郡上おどりに対する意見や課題の整理を行った上で、その内容を反映させた保存活用計画の策定が進められます。

郡上のおどり 新たな1ページ

今年、3年ぶりとなる「郡上おどり」「白鳥おどり」「白鳥の拝殿踊り」の開催と、郡上おどり保存会100周年記念事業が開催されます。市民のみなさんにも一緒に盛り上げていただき、郡上の宝の新たな歴史の1ページを、下駄の音とともに刻みましましょう。



今回発行される
踊り本「郡上おどり」(右)
記念誌(左)